

（別紙）2019年度 町長公約の予算化事業

※公約項目に番号設定がないため、項目ごとの状況として回答いたします。

1. 町民誰もが仕事に頑張ることができるまち！ 活力みなぎる産業基盤の構築			予算化	2. 長寿社会を健康で豊かに生きるまち！ 安心・安全な暮らしを守る			予算化	3. 子どもたちの夢・希望が広がるまち！ 子育て世代を全力でサポート			予算化	4. くりやまが放つ魅力でひきつけるまち！ 自然と伝統文化の体感を			予算化	5. やさしさの絆で支え合うまち！ 町民総参加で未来を築く			予算化
継続	農業基盤整備や担い手育成、農地流動化の推進など、基幹産業農業の振興を図ります。		○	継続	命のバトンの活用など、要援護者の地域での見守り・支え合い活動の充実を図ります。		○	継続	子育て家庭の負担軽減を図るため、子ども医療費助成事業などを推進します。		○	継続	ハサンベツ里山などの豊かな自然環境の保全・再生・活用を推進します。		○	継続	防災備蓄倉庫の整備や、自主防災組織の設置推進など、「災害に強いまちづくり」を進めます。		○
継続	空き店舗・空き地活用支援など、商店街の活性化を推進します。		○	継続	「健康寿命延伸」のまちづくり宣言に基づき、生活習慣病予防・重症化予防を推進します。		○	継続	ファミリー・サポートセンターや子育てサロンなど、子育て環境の充実を図ります。		○	継続	「雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス」を拠点とした自然体験教育を推進します。		○	継続	自治基本条例に基づき、情報共有と町民参加の着実な推進を図ります。		
継続	「栗の活用」など、新たな特産品や観光資源の創出や、海外販路拡大を支援します。		○	継続	栗山赤十字病院の初期救急医療・医師確保助成など、必要な医療水準を確保します。		○	継続	家庭・地域・学校との協働による「コミュニティ・スクール」を推進します。		○	継続	御大師山や湯地・鳩山地区などを一体的な景観・観光振興ゾーンとする構想を策定し、施設・環境整備を推進します。		○	継続	まちづくり協議会などの地域活動を支援します。		○
継続	新町・錦地区など、駅周辺の賑わいを創出する中心市街地整備を推進します。		○	継続	町立介護福祉学校の存続・経営改善に向け、学生確保や教育力の向上に取り組みます。		○	継続	自然・社会体験など、地域資源を活かした「ふるさと教育」「キャリア教育」を推進します。		○	継続	「小林酒造酒蔵群」をはじめとする歴史的建造物等の保存（支援制度創設など）・継承・活用を推進します。		○	継続	町民団体が連携・協力して行う「まちの魅力アップ応援事業」を推進します。		○
継続	字名改正や5丁目構想など、町の将来発展を見据えた市街地形成について検討します。			継続	健幸都市（スマート・ウェルネスシティ）実現に向けた計画づくりを行います。			継続	栗山高校生の各種資格取得支援を行います。		○	新規	若者・子育て世代が移住・定住しやすい環境づくりを進めます（Uターンを促進する奨学金返済支援、移住促進分譲地の整備など）。		○	継続	町長のまちづくり懇談会を充実し、町政への町民参画を推進します。		○
継続	国道234号線の4車線化や道の駅構想など、国・道への事業要望を継続して実施します。			継続	町営バス・コミュニティバスの運行など、町民生活の足を確保します。		○	新規	「妊婦タクシー助成制度」の創設や、「病児・病後児保育」の仕組みづくりを検討します。			新規	学生の就業体験を受け入れる町内企業への支援制度を創設します。			継続	限られた財源を有効活用した健全財政運営と、官民協働による公共サービスの提供を推進します。		
継続	南・中・北部地区それぞれの地域特性を活かす振興対策を推進します。			継続	新たな再生可能エネルギーの導入に向けた調査研究を行います。			新規	育児応援企業への奨励金制度（育休・産休の取得促進）を創設します。			新規	地域おこし協力隊員などの起業を支援します。		○	新規	災害時の情報伝達手段を兼ねた「コミュニティ放送局」の開局を目指します。		
継続	トップセールスによる企業等誘致を推進します。		○	新規	ふるさと福祉基金を活用し、障がい児・者の生活・就労環境支援などに取り組みます。		○	新規	子ども貧困対策に係る実態調査などを踏まえ、「栗山の子ども・子育て条例」を制定します。			新規	国・道と連携し、「雨煙別川かわまちづくり」など、夕張川流域河川整備を進めます。		○	新規	町内会・自治会区域の再編に係る支援制度を創設します。		
新規	ICT技術を導入し、省力化やコスト低減に取り組む農業経営者を支援します。		○	新規	運転免許証の自主返納者支援制度の創設をはじめ、高齢者等の日常生活を維持・確保する移動（交通）手段の充実を図ります。		○	新規	部活動対外派遣費助成などの新たな支援策により、栗山高校の魅力づくりを進めます。		○	新規	伝統行事・文化の保存・育成・発掘を進めます。		○	新規	職場や団体・サークル活動などへの、町長ふれあい訪問を実施します。		○
新規	民間企業と連携し、「くりやまワイナリー」など、観光農業の調査研究を進めます。			新規	老々介護問題などの対策として、「ケアラー（介護者）支援推進条例」を制定します。		○	新規	栗山高校の未来像を話し合う町民委員会を設置します。		○								
新規	「栗山版DMO法人（観光地域づくり法人）」やまちづくり会社の設置を支援し、観光や農商工の振興に取り組めます。			新規	官民協働の除排雪システムづくりを進めます。														
新規	「商業アドバイザー派遣事業」の導入検討など、魅力ある商店街づくりを推進します。			新規	町営バス運行効率化を目指し、「ハブ（中継）バスターミナル」設置などを検討します。		○												
新規	観光客等への「シェア（貸出・返却）自転車事業」の導入に向けた調査研究を行います。			新規	JR利用促進事業に取り組めます。														
新規	「ものづくりDIY工房」を新設し、起業等を目指す人材の育成を推進します。		○	新規	栗山赤十字病院の改築を含めた、将来的な医療環境整備の全町的な検討を進めます。		○												
				新規	「シルバー人材センター」設立を推進します。														

7事業

10事業

7事業

8事業

5事業

計 37事業